

# 令和6年第3回（6月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>1 人・農地プランから地域計画への取組について</p> <p>(1) 地域計画の進捗状況について</p> <p>(2) 農業経営意向調査票はどのように活用されるか</p> <p>(3) 地域計画の作成主体は誰か</p> <p>(4) 地域計画における兼業農家など家族農業の位置づけは</p> <p>(5) 第6期中山間地域等直接支払制度との整合性は</p> <p>(6) 農地集積だけの地域計画から、地域の福祉や教育、環境、景観、防災なども含む集落の総合計画に取り組むべきではないか</p> <p>2 森林環境税・森林環境譲与税の活用について問う</p> <p>(1) アンケート調査結果で「今後の経営管理を市に任せたい」との回答について</p> <p>(2) 佐渡市の山林行政での森林環境譲与税の位置づけと方向性について</p> <p>(3) 財産区における山林管理と有効活用について</p> <p>3 令和6年4月介護報酬改定の影響について問う</p> <p>(1) 訪問介護の基本報酬引下げ</p> <p>(2) ショートステイの「長期利用」の報酬減</p> <p>(3) ケアマネジャー1人当たりの取扱い件数の引上げ</p> <p>4 ゼロ・ウェイスト「循環のまちづくり」について問う</p> <p>(1) 排出されるごみの再利用率向上について</p> <p>(2) 家庭や事業所から出る生ごみの分別回収による資源化(バイオガスプラントと有機液肥)</p> <p>(3) 紙おむつリサイクルについて</p>	佐藤 定
2	<p>1 人口減少対策に学ぶ</p> <p>物価高騰が続き市民生活が困窮している。人口減少対策を前に進めるために子育ての経済負担の軽減化を図るべき</p> <p>(1) 学校給食費無償化</p> <p>憲法第26条では義務教育の無償を定めている。教育の一環である学校給食は無償とすべき</p> <p>(2) 子ども医療費無料化</p> <p>子ども医療費無料化は当たり前になってきた。窓口の一部負担金をなくすべき</p> <p>(3) 妊産婦医療費無料化</p> <p>令和5年4月から、妊産婦の医療費の一部助成が開始されたが、窓口負担を無料とすべき</p> <p>(4) 子どもおむつ代支援</p> <p>県内3市町村が子どもの紙おむつ代を助成している。当市も助成を</p> <p>2 通院・買物の足を確保する</p> <p>来年度の新両津病院移転に伴う通院バスの運行を</p> <p>3 柏崎刈羽原発再稼働に反対する</p> <p>市民の命と暮らしを守るために再稼働反対の表明を</p>	栗山嘉男
3	<p>1 避難所のトイレを洋式トイレにできないか</p> <p>2 島内公衆トイレの数、清掃作業は適切か再度問う。また、来島者の食事について問う</p> <p>3 避難道、波返し開口部等について、地域住民と話したか</p> <p>4 温水プール工事期間、小学校の水泳時間、夏季水泳について問う</p> <p>5 島内美化運動計画について問う(県道65号両津真野赤泊線花壇、真野公園、海藻等)</p> <p>6 市役所本庁舎にバス停をつくるか。また、土、日曜日に真野御陵まで延伸できないか</p> <p>7 西三川地内に設置した車の充電施設の利用及び竹チップ入り舗装の実績について問う</p> <p>8 真野行政サービスセンターの今後について問う</p> <p>9 漁港施設で安全に海釣りができる場所をつくれぬか</p> <p>10 災害用備蓄倉庫を広くできないか。運搬の仕方等を問う</p> <p>11 北陸応援割と連動した旅行需要喚起キャンペーン事業の実績について問う</p>	山本健二

順	質 問 事 項	質 問 者
4	1 防災対策について (1) 佐渡市における道路啓開計画について (2) 佐渡市における事前復興まちづくり計画について (3) 広範囲で通信障害が発生した際に活用できるスターリンクの導入について 2 学童保育について (1) 畑野児童館の利用状況と今後の計画について (2) 令和6年度当初227人の学童待機者がいたが、解消に向けての取組について 3 宿泊税導入について (1) 入島税ではなく、宿泊税導入を検討している経緯 (2) 見込み税収とその用途について (3) 事務手続きについて 4 熱中症対策について 市の施設を活用したお休み処の設置について	平田和太龍
5	1 佐渡市版子ども計画の策定について 子どもの声を聴く体制の構築を 2 学力向上に向けた取組の推進について (1) 学校以外での学習時間の確保を (2) 放課後児童教室や土曜学習塾の推進 3 避難所設備の整備について (1) 学校体育館にエアコン設置を (2) トイレ対策としてトイレトレーラーの配備を	山田伸之
6	◎ 世界遺産登録後の観光政策について 1 増加が予想されるインバウンドへの対応について (1) 通訳ガイド、機能は十分なのか (2) 案内書面や道路案内標識への英語併記等、対応はできているか (3) 二次交通の案内等、デジタル機能の活用策は進捗しているのか (4) オーバーツーリズム対策等、関連事業者との連携はできているか 2 島のセールスポイントとそのPR手法について (1) 世界遺産の他には文化、伝統芸能、環境、スポーツ等、どのようなイメージを売りとしていくのか (2) リピーターの拡大に向けた市の政策は何か (3) DMO、スポーツ協会、文化財団との連携はどうなっているのか (4) マーケティングに基づいて、どのようなPR策を考えているのか 3 維持、保存、改修等のための財源確保について (1) 今後どのようなことに、どのくらいの経費が必要と試算しているか (2) 国・県からの補助以外に手法は検討しているか (3) 他自治体では宿泊税の導入検討を始めたところもあるが、当市はどう考えるか	林 純一
7	1 世界遺産登録への対応とインフラ整備状況について (1) オーバーツーリズム対策の進捗と今後の課題について (2) インバウンドへの対応として、通訳の確保等について (3) 一時的な需要増による観光疲れの防止について 2 宿泊税導入の要望に対し、入島税との比較も含めた検討状況について 3 ごみの不法投棄について (1) ボランティア活動の実施状況について（地域別の特色や課題等） (2) 買物袋の指定ごみ袋化について（宿泊税や入島税とも関連して） 4 竹や樹木の整備状況について (1) 2022年12月発生の雪害を踏まえた整備状況について (2) 手つかずの民地に対する課題認識について 5 来庁者の対応スペースについて（新庁舎2階の市民対応スペースがオープンであり、個人情報と話しづらい雰囲気があること） 6 災害時の住宅確保状況について	村川拓人

順	質 問 事 項	質 問 者
7	<p>(1) 公営住宅の空き状況や至近での災害における貸与実績について</p> <p>(2) 仮設住宅を建設する場合のマンパワー、土地、資機材の確保状況について（具体的な設置期間や戸数等）</p> <p>7 路上の駐停車に関する課題認識について</p> <p>(1) 両津港や学校・保育園・幼稚園における路上での駐停車について</p> <p>(2) 特に小さい子供の命を守るための課題認識について</p>	村川 拓人
8	<p>1 地域相談員及び拠点化担当の地域おこし協力隊について</p> <p>(1) 地域相談員及び拠点化担当の地域おこし協力隊の役割について</p> <p>(2) 現状の配置状況及び在籍年数について</p> <p>(3) 開始から3年が経過し、その成果及び今後の課題について</p> <p>2 デジタルリーダーについて</p> <p>(1) 発足時からの成果及び今後の課題について</p> <p>(2) 市役所改革プロジェクトチームとの役割分担はどのようになっているのか</p> <p>(3) デジタルリーダー等の業務に従事している職員のモチベーションアップについて</p> <p>3 将来を見据えた今後の医師の確保・育成について</p> <p>(1) 現状の佐渡市における医師確保の政策について</p> <p>(2) 佐渡出身の医師数の状況</p> <p>(3) 佐渡出身の医師育成に向けて、今後の市のビジョン</p>	川原 茂
9	<p>1 佐渡市の医療体制を問う</p> <p>(1) 佐渡市の人口が減っているとはいえ「真野みずほ病院」、「佐和田病院」が閉院し、「相川診療所」、「南佐渡地域医療センター」の病床数が減っているが、佐渡市の病床を今後どのように確保していくのか</p> <p>(2) 医師不足解消のためにもリモート診療は今後必要になると思われるが、佐渡市はどのような計画をしているか</p> <p>(3) 在宅介護を希望する家庭の対応をどのようにする計画か</p> <p>2 佐渡市の公共交通が複雑になっているが、不便はないか</p> <p>(1) 公共交通利用の周知はどのようになっているか</p> <p>(2) ダイヤの不満をどのように解消しているか</p> <p>3 佐渡市の道路路肩整備はもっときれいにすべきではないか</p> <p>(1) 県道は県の指示がないと整備できないのか</p> <p>(2) 市道の整備は誰がしているか。また、年間どのくらいの費用がかかっているか</p> <p>4 公共施設を今後どのように整理していくのか</p> <p>(1) 佐渡市公共施設あり方検討会議の意見内容はどのように反映されるのか</p> <p>(2) 現在使われている施設廃止後の利用者の利便性や地域への影響は考慮されているか</p>	中川 健二
10	<p>1 佐渡の医療介護問題について</p> <p>(1) 6月の介護老人保健施設さどの廃止など介護等を支える高齢者福祉施設の縮小が続く中、佐渡の介護などの高齢者福祉は守れるのか。施設廃止等は、施設老朽化に伴う改修も一因となっているが、市の対応が必要ではないか</p> <p>(2) 病床数の大幅な削減に対して「医療と介護の連携」をすれば大丈夫としてきたが、対応はどうか</p> <p>(3) 介護老人保健施設さどの廃止は、市民にとって「寝耳に水でびっくりした」、「将来利用させてもらおうと思っていたが、今後どうすればいいのか」などの不安の声が上がっているが、これらの声にどう答えるのか</p> <p>(4) 今年度の介護報酬改定はあまりにも大きな問題があることから、広範な関係者から「訪問介護改定の撤回と再改定」を求める声が上がっているが、市としても求めるべきではないか</p> <p>(5) 特に、訪問介護事業者は採算が合わない状況となるが、事業所等の実態把握と対応は急務ではないか</p> <p>(6) 介護職員の処遇改善は、今年度の改定で処遇改善加算が一本化され「令和6年度2.5%、令和7年度2.0%」の加算率の引上げができると説明されているが、実施で</p>	中川 直美

順	質 問 事 項	質 問 者
10	<p>きるか。また、介護支援専門員（ケアマネジャー）は処遇改善から外されているが、問題はないか</p> <p>2 令和5年度随時監査結果（創業・事業拡大等支援事業）について</p> <p>(1) 令和4年度財政援助団体等監査結果（佐渡観光交流機構負担金）に続き、令和5年度随時監査結果（創業・事業拡大等支援事業）における補助金交付事務の「不適正事務処理」の11項目の指摘について、市長定例記者会見では「おおむね適正に執行」と食い違っているが、どこに問題があるのか</p> <p>(2) 令和4年度の指摘に対する対応策はどのようになったのか</p> <p>3 佐渡航路について</p> <p>(1) 海上交通における冬場2隻体制維持はどうなるのか</p> <p>(2) 旧佐渡汽船時代では、老朽船（カーフェリー、ジェットフォイル、貨物船）の更新は大きな課題だったが、問題はないのか</p> <p>(3) 小木一直江津航路への他県並みの財政支援を求めないのか</p> <p>(4) 首都圏との航空便の今年度就航はどうなるのか。赤字補填なども考えているのか</p> <p>4 市役所本庁舎竣工に伴う地区行政サービスセンター整備について 佐和田、真野地区の行政サービスセンター整備の進捗状況</p> <p>5 能登半島地震の教訓を生かした防災の取組について 各地域における地区防災計画は重要で、市としての対応も重要だが、どこまで進んでいるのか。また、議会や住民から出された意見にどう対応しているのか</p> <p>6 拉致問題について 拉致問題が表面化してから20年以上経っても、いまだに被害者の即時一括帰国が実現してない。関係自治体である佐渡市としては、どう寄り添っていくのか</p>	中川直美
11	<p>1 農業政策について</p> <p>(1) 集落営農の維持について</p> <p>① 過去3年間の新規集落営農法人設立の実績と今後の推進方針について</p> <p>② 多面的機能支払交付金の資源向上支払（共同）の交付単価減額の理由と、県への今後の対応について</p> <p>(2) 儲かる農業について</p> <p>① 行政による農業収入を上げる方法の模索、また、その方法を周知する必要性について</p> <p>② 環境保全型農業直接支払交付金（環直）の新規メニュー「畦畔除草及び秋耕の実施（4,000円/10アール）」の申請状況と、今後の普及方針について</p> <p>2 佐渡市職員の労働条件について</p> <p>(1) フルタイム会計年度任用職員の処遇改善について</p> <p>① 正規職員との業務内容や賃金労働条件の均衡について</p> <p>② 再度の任用回数上限4回の改善について</p> <p>(2) 人事評価について（職員のモチベーションを上げる観点における）</p> <p>① 今後の人事評価結果の活用方針について</p> <p>② 評価者研修の実施計画とその研修内容について</p> <p>(3) パワーハラスメントの根絶について 佐渡市にパワーハラスメントがあるか。今年度調査する予定があるか</p>	坂下真斗
12	<p>1 「両津病院」、「歌代の里」、「すこやか両津」の3施設について</p> <p>(1) 3施設が今後どのように市民生活に貢献できるのか</p> <p>(2) 医療構想の中でICTオンライン診療はどのようになっているか</p> <p>2 市長には職員と共にワンチームで佐渡の明るい未来を創造してもらいたいが、市民サービスについての方針はどうか</p> <p>3 2023年度新潟県が誘致したIT企業は過去最多で累計94社となった。就職希望者のニーズを聞いてアフターフォローが必要と考えるが、企業誘致についてどう考えるか</p> <p>4 UIターン者奨学金返還支援事業の申込み状況はどうか</p> <p>5 能登半島地震を教訓に助かる命を守る体制構築はどうか</p> <p>(1) 防災DXの活用をどう考えるか</p>	佐々木ひとみ

順	質 問 事 項	質 問 者
12	<p>(2) 災害におけるドローン、人工衛星など最新テクノロジーの活用をどう考えるか</p> <p>(3) 津波避難や垂直避難の際に、一時避難で行政サービスセンターと提携が必要と考えるが、どうか</p> <p>6 真野行政サービスセンターでの公民館活動を期待している方が多いが、今後の予定はどうか</p> <p>7 佐渡市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の公衆トイレの看板設置について</p> <p>8 さくらねこ、地域猫活動について、市民に理解していただくために、市のホームページの更新や県の取組を紹介してもらいたいが、どうか</p> <p>9 子育て支援と結婚支援について</p> <p>(1) 子育て支援で、政府は医療保険等加入者1人当たり、一月450円協力金を求めると発表した。佐渡市はいつからか</p> <p>(2) 出産育児一時金50万円支給と政府が発表し、地域に格差があると言うが、佐渡市はどうか</p> <p>(3) インドの人口は14億人で、原動力は平均年齢28歳の若者であり、その大部分はお見合い結婚だが、佐渡市の現状はどうか</p> <p>10 教育について</p> <p>(1) 佐渡市のトライアスロン大会は36周年になる。小学生と選手とのメッセージ交換はお互いに絆ができてよいが、現在も行っているか</p> <p>(2) 親心に触れて、感謝の気持ちを理解する教育はできているか</p> <p>11 学童保育について、佐渡市の構想はどうか</p> <p>12 世界遺産登録と観光について</p> <p>(1) 世界遺産登録を目前に3つの条件がしたが、市長の見解は</p> <p>(2) DMOの体験型ツアーについて</p>	佐々木ひとみ
13	<p>◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする</p> <p>1 津波の防災計画について</p> <p>佐渡西方沖活断層F42は、海底地震、津波を起こす可能性が高いとする警戒の呼びかけが出されている。このことを真剣に受け止めている住民の命を守るために、分かりやすい説明を求める</p> <p>(1) 各地区の防災計画策定の進捗状況はどうか</p> <p>(2) 防災計画策定に至っていない集落の課題は何か</p> <p>(3) 「自助、共助、公助」のそれぞれの役割と責任、関係を明確に示せ。例えば、いざ津波が発生した際、防災計画策定ができていない集落に対して、行政は最終的にどう関わるのか</p> <p>(4) 地域防災マップには「津波てんでんこ」の精神が紹介される一方、避難行動要支援者リストの活用もうたわれており、整合性の説明を求める</p> <p>(5) 島に訪問中の人にも避難誘導できる仕組みはどうなっているか</p> <p>2 学校が子どものための学校で在ることについて</p> <p>昨今、子どもの不登校が増加する一方と報道されているが、教員のなり手不足と多忙化問題もその根底にあり、解決策が複雑化してきている。そのため総合的な環境改善を求める</p> <p>(1) 島内の小中学校の教職員の人員は足りているか</p> <p>(2) 不足している職は何で、どのようにしてその職務を埋めているのか。改善策をどのように打っているか</p> <p>(3) 校舎内の空調効果を上げ、またエネルギーコストを下げるため、二重窓の採用、また、最上階の天井に断熱材を入れるなどのさらなる改善をしてはどうか</p> <p>(4) 学校構内施設の修繕や改修が必要な案件に対して、すぐに対応しているか</p> <p>3 ジェンダー平等の実現について</p> <p>6月23日から29日は、内閣が定める男女共同参画週間で、男女平等の推進が呼びかけられている</p> <p>(1) 佐渡市の課題と取組はどのようになっているか</p>	荒井真理

順	質 問 事 項	質 問 者
13	<p>(2) ジェンダーギャップを埋め、女性のエンパワーのための取組について、本気度を問う</p> <p>4 島外からの訪問者から特別税を徴収する仕組みについて 市長が「宿泊税」の導入に向けて政策を進めているとの報道があったことについて、問う</p> <p>(1) 渡辺市長の考えている「宿泊税」とは何か、その仕組みと目的などの説明を求める</p> <p>(2) 入島時に訪問者から一律に徴収できる「入島税」や「訪問税」といった仕組みを検討したか</p> <p>(3) 特別税の使い道をどのように検討しているか。様々なニーズを持った観光客などが増えても困らないよう全般的な検討を求める。例えば、歩道の段差解消、主だったバス停に風雨をしのげる小屋の設置、全ての公園やキャンプ場、施設へのごみ捨て場設置、トイレのユニバーサル化、また公共施設のバリアフリーについてはどうか</p> <p>5 相川の博物館事業について</p> <p>(1) 5月に相川郷土博物館がリニューアルオープンしたが、「博物館」としての魅力をどう発揮しようとしたのか説明を求める</p> <p>(2) 相川郷土博物館の華のある特徴は何か。御料局の建物の説明や見せ方はどのようなものか</p> <p>(3) 相川の郷土資料を総合的に判断しているのはどこか。相川郷土博物館に展示されていた江戸時代の絵馬など貴重なものをどこに展示するのか</p> <p>(4) 相川の博物館事業専属の学芸員配置とその任務はどうなっているか</p>	荒井 眞理
14	<p>1 「佐渡島（さど）の金山」の世界遺産登録について</p> <p>(1) イコモス勧告で「情報照会」との発表だが、その内容と今後の対応及び見通し</p> <p>(2) バスドライバー・ガイド、タクシー、レンタカー、ホテル、昼食場所の不足にどのように対処するのか</p> <p>(3) 国道・県道の美化活動が必要ではないか 草刈り、大型車輛の高さまでの枝張りなど</p> <p>(4) 北沢浮遊選鉱場の整備</p> <p>① 一般車輛とバスの駐車場を、渋滞緩和のため分離すべきとの強い要請があるが、対応できないか</p> <p>② 相川技能伝承館の駐車場にある案内板は、大型バスの出入りに支障を来しているため、移転すべきではないか</p> <p>2 LCC(トキエア)の首都圏直行便就航の予定時期はいつか</p> <p>3 航路の島民負担をJR並にできないか</p> <p>4 人口減少・少子・高齢化対策</p> <p>(1) 人口減少の現状と対策</p> <p>(2) 出生数・出生率の推移と対策</p> <p>(3) 高齢化の現状と対策</p> <p>5 農業者戸別補償制度の復活 国に働きかけるとともに、佐渡独自でも制度を創設し、世界農業遺産(ジアス)に恥じない農業政策を構築すべきではないか</p> <p>6 人材不足の解消 特に医療関係者の確保は喫緊の課題ではないか</p>	近藤 和義